

# 鎌倉日和

vol.41

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、ありがとうございます。

本年も「頼れる身近な専門家」として、皆様のご期待に添うべく誠心誠意業務に取り組んでまいります。

コロナウイルスの感染数が減り、鎌倉の街も活気が戻ってきました。引き続き感染対策には気を付けながらも、昨年できなかったことに前向きに取り組んでいく年にしたいですね。



## 鎌倉ブランドのお客様

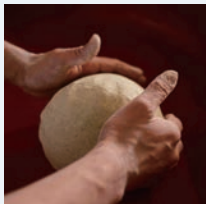
### 株式会社千花様

#### ● 名店が教室を開いた理由 ●

鎌倉駅から徒歩 18 分という立地にもかかわらず、常に行列が絶えないお蕎麦屋さん、千花庵。手打ちの十割蕎麦にこだわり、蕎麦の品種や産地ごとの食べ比べもできる名店です。その千花庵が、横浜の野毛にオープンした蕎麦打ち教室が「蕎麦打ち Studio CHIHANA」です。代表取締役の鈴木智也さんにお話を伺いました。



千花庵は元々鈴木さんのお父様が鎌倉の地で始めた蕎麦屋でした。サラリーマンだったお父様が、福島の十割蕎麦のお店に惚れこみ、修行の末に開店したお店です。鈴木さん自身も飲食業界に身を置いていましたが、蕎麦の世界は、技術がロジック化されておらず伝承しにくいという理由から、



敢えて足を踏み込まないようにしていたと言います。

しかし、お父様が交通事故で腕を負傷し蕎麦を打てなくなってしまい、急遽鈴木さんが引き継ぐことになりました。そこから、蕎麦のことを学べば学ぶほどに面白く、魅了されていく一方で、現代人の蕎麦離れや、後継者不足で年間 1000 件もの蕎麦屋が廃業している現実を知ります。

「本当に美味しい蕎麦の味をもっと多くの人に知ってもらいたい、そしてできれば家庭で蕎麦を打って味わってほしい」と考えた鈴木さん。365 日蕎麦に向き合っ、蕎麦打ちの工程をロジック化し、誰でも十割蕎麦を打つことができるオリジナルカリキュラムを開発しました。



また、蕎麦文化を継承していきたいという鈴木さんの思いに賛同し、協力してくれる仲間が現れます。その中にはデザイナーや PR のプロもいて、彼らの助けによって鈴木さんのアイデアが店舗デザインやホームページなどに具現化され、ついに「蕎麦打ち Studio CHIHANA」がオープンしました。

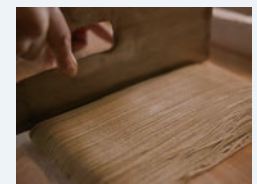
この教室の目的は「実はもう一つある」と、鈴木さんはおもむろに語ります。「この教室に通う中で、蕎麦打ちを仕事にしたいという人が現れるかもしれない。そうやって人が育てば、後継者がいなくて困っている店の助けにもなるのではないかと考えたそうです。



教室で打った蕎麦は勿論持ち帰ることができますが、鈴木さんは、近隣の店舗と提携を結び、提携店に蕎麦を持ち込んで茹でて貰えるサービスを始めました。こだわりの美味い蕎麦を提供する飲食店と提携しているの、その店の料理とお酒を楽しんだ後に、自分が打った蕎麦でしめるという最高のコースを堪能することができます。これにより、多くの人に蕎麦を知ってもらい、蕎麦を楽しんでもらい、また、地域も活性化するという、「三方よし」の仕組みが出来上がりました。

#### ● 今後の展望 ●

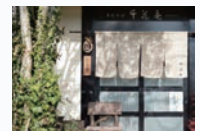
鈴木さんは、蕎麦打ちには「動的な瞑想」のような側面があり、集中して蕎麦打ちをした後、頭がスッキリする効果があると言います。また、前回できなかったことができるようになることにやりがいを感じたり、自分が打った蕎麦を大切な人と一緒に食べることに喜びを感じたりする人もいます。蕎麦の世界は奥深いですが、その世界への間口を広げ、多くの人にそれぞれの楽しみ方を知ってもらうことが喜びであり、夢だと語ってくれました。



「名店」の評価で歩みを止めることなく、蕎麦文化を次世代に継承するために新しいことに取り組む姿に刺激をいただきました。「伝統と革新」は当事務所のテーマでもあります。当事務所も知的財産の側面から、より一層サポートさせていただきたいと思えます。

#### 手打ち蕎麦 千花庵 鎌倉本店

神奈川県鎌倉市西御門 2-6-13  
TEL: 0467-22-6517  
<https://chihana-an.com/kamakura/>  
定休日：月曜日



#### 蕎麦打ち Studio CHIHANA

神奈川県横浜市中区野毛町 2-81-1  
<https://chihana-an.com/studio/>



## ブランド の タネ

### ● 図形と文字の組み合わせ 商標の出願について ●

株式会社千花様は「蕎麦切り包丁をデザインした図形」と、「蕎麦打ち Studio CIHANA」という文字商標を2件出願されました。この図形と文字商標、千花様のホームページなどでは「図形」の下に「文字」が表記される形で使われています。

一般的に、図形と文字を組み合わせた商標は、様々なところで使われており、商標登録も図形と文字が組み合わせられたもの、図形だけ、文字だけと、様々な形で登録されています。

今回は、図形と文字が組み合わさった商標について出願する際に、実際のところ、どのように出願すると良いのか、というお話をしたいと思います。



例えば右のセブンイレブンのロゴ商標は、緑色のコップに、オレンジと赤の「7」が入って、その上に「ELEVEN」が重なっている構成です。この商標から、文字部分である「7」や「ELEVEN」を除いたら、もとの商標とは似ても似つかぬデザインになってしまいます。



すなわち、セブンイレブンのロゴ商標全体と、それを構成する図形や文字の単体とは非類似ということであり、ロゴ商標全体について商標登録を受けたとしても、「7 ELEVEN」という文字や、その読みである「セブンイレブン」について効力は及びません。ですので、セブンイレブンジャパンは、当該ロゴ商標の他に、「7-ELEVEN」、「セブン-イレブン」の文字商標についても商標登録を受けています。



一方、左の例のように、図形と文字が分離している場合は、文字部分や図形部分のみの模倣について、類似商標として権利行使が認められる可能性が高くなります。

しかし、権利行使が認められるかどうかは裁判所の判断であり、類似の立証は権利者側がしなければなりません。

さらに、継続して3年間登録商標を使っていない場合、「不使用取消審判」を請求されることがあります。組み合わせの商標について登録を受けている場合は、「組み合わせ」の状態を使っていなければならない、という点も注意が必要になってきます。

ここで、「文字のみ」、「図形のみ」でそれぞれ商標登録を受けおけば、権利行使の観点でも、不使用取消審判の観点でも、取り回しの良い権利になり、いたずらに紛争が長引くおそれも低くなります。権利の保護、という観点から考えると、「文字は文字」、「図形は図形」として商標権の取得をしておくことが望ましいといえます。

千花様は、このような観点から、図形商標と文字商標の、2件の出願をされたわけですが、事業のかたちや商標の活用方法はそれぞれです。どうすべきか迷われたら、どうぞお気軽におご相談ください。 商標担当弁理士 芦田 圭司

### ● 別々に出願するメリットは？ ●

図形と文字を組み合わせた商標をひとまとめのものとして出願することのメリットは、出願が安く済む、という点です。図形と文字を分けて出願すれば、2出願となり、出願費用は単純に2倍になります。では、なぜ千花様はわざわざ図形と文字を分けて出願しているのでしょうか。

商標は「全体を一体として判断する」という大原則があります。つまり、図形と文字が組み合わせられた商標は、図形も文字も全部合わせて一つの商標であり、第三者の商標に似ているか似ていないかは、その全体をもって判断するということです。

得てして、図形に組み合わせられた文字は、図形に対応したデザインがされていたり、図形と組み合わせられてひとまとまりのデザイン性を有していたりします。文字の配置・サイズ・フォントも含めて全体のデザイン性が成立している場合、全体から抜き出した「文字のみ」や、「図形のみ」は、もとの組み合わせの商標と似ているとは言い難い場合も多いです。

## 新年明けましておめでとうございます

コロナの感染者数が少なくなってきました。まだ決して気を緩めることはできませんが、世界に誇るワクチン接種率の高さと日本人の清潔感が感染拡大を抑制したのではないのでしょうか。今年は経済がまた元の活況を取り戻すことを期待したいです。

昨年、当事務所では、「弁理士渡部の知財でござる」という動画の制作、配信に新たにチャレンジしてみました。企画のキックオフでは、とりあえず100本出してみても効果はそれから考える！という意気込みの下、スタートを切ってみたものの、企画や演出はもちろんのこと、特に動画の編集が想像以上に労力がかかることが分かり、課題は山積です。

ですが、これは、コロナ禍で私たちが事業者の皆さまに力になれることはないかと考え、外出が難しい状況でも動画から知財情報を得て少しでも事業のヒントにさせていただけたらとの想いで始めた取り組みです。果敢に課題を乗り越え、楽しくそして為になる知財情報と元気を皆さまにお届けしたいというのが今年の抱負の一つです。

「弁理士渡部の知財でござる」

チャンネル登録



将星国際特許事務所  
所長弁理士 渡部 仁



SHOUSEI International Patent Office

将星国際特許事務所

〒248-0006

神奈川県鎌倉市小町2-11-14 山中MRビル3F

TEL : 0467-73-8540 (平日10:00~16:00)

FAX : 0467-73-8541

Email : info@shousei.jp

URL : https://shousei.jp/

